

4. 高齢者の社会参加

本格的な長寿社会を迎え、平均寿命が延びる中、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる社会が求められています。一方、都市化の進展に伴い、地域における人間関係が希薄になっている中で、住民同士の助け合いや地域のつながりの重要性が改めて認識されるようになり、元気な高齢者には、子育てや介護、防犯・防災をはじめ幅広い分野での活躍が期待されています。

高齢者が、それまでに培った知識・経験を活用し、地域の担い手・支え手として活躍することは、高齢者の生きがいがづくりや健康増進、介護予防にもつながり、地域社会の活力維持のためにも重要です。

そこで、意欲のある高齢者がいくつになっても無理なく活動を継続できるよう、活動機会や場の増加、情報提供に取り組んでいます。

(1) あいちシルバーカレッジの開催

60 歳以上の方を対象に学習の場を提供し、生きがい・健康づくりの促進や地域における社会活動の中核を担う人材の養成を図ることを目的として、文化、医療・福祉、環境問題などの講義を行う「あいちシルバーカレッジ」を開講しています。平成 29 年度には、県内 5 会場で年間 600 名が受講しました。

「あいちシルバーカレッジ」には、文化教養学科と生きがい健康学科の 2 学科が設置されており、学習内容については、両学科に共通の一般教養及び地域活動支援を学ぶ共通科目と、各学科の専門分野を学ぶ専門科目の 2 科目を学ぶこととなっています。講師には、県内大学教授や医師、弁護士等に依頼して講義を行っています。

例年受講希望者が受講定員を上回る状況が続いており、超過した学科ごとに抽選を行って受講者を決定しています。

<あいちシルバーカレッジの概要（平成 29 年度）>

対象者：県内在住の 60 歳以上（昭和 32 年 4 月 1 日以前生まれ）の方

（ただし、過去に本カレッジに在籍した方は除く。）

学科・定員・会場

学科	定員	会場
名古屋A 文化教養学科	100 名	愛知県社会福祉会館（名古屋市）
名古屋A 生きがい健康学科	50 名	
名古屋B 文化教養学科	100 名	
名古屋B 生きがい健康学科	50 名	
豊橋 文化教養学科	90 名	豊橋市民センター（豊橋市）
岡崎 文化教養学科	50 名	岡崎市図書館交流プラザ（岡崎市）
一宮 文化教養学科	90 名	一宮地場産業ファッションデザインセンター（一宮市）
東海 生きがい健康学科	70 名	東海市保健福祉センター（東海市）

修学年限：1 年（年間 30 日間）

年間カリキュラム：4 月・入学式、5 月～2 月・講義、修学旅行、社会見学、レクリエーションスポーツ、学生企画、3 月・卒業式

入学金・授業料：入学金 10,000 円、授業料 13,000 円（年額）（修学旅行費等は別途各自負担）

委託先：社会福祉法人愛知県社会福祉協議会（福祉生きがいセンター）



シルバーカレッジ（講義風景）



シルバーカレッジ（就学旅行）

（２）高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、関係団体・機関の参加と協力のもとに、高齢者のスポーツ活動や健康づくり活動、社会活動の振興を図る取組を行っています。

ア 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）は、スポーツや文化種目の交流大会を始め、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、昭和 63 年から毎年開催されています。（主催：厚生労働省・開催都道府県（政令指定都市）・一般社団法人長寿社会開発センター）

平成 29 年度については、昨年 9 月に秋田県において第 30 回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田 2017）が開催され、愛知県からは卓球を始め、テニス、ソフトボール、ゲートボール、マラソン、囲碁、将棋など 21 種目の交流大会に 161 名の選手・監督と 5 名の役員を派遣し、スポーツや文化活動などを通じて高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

今年度は、11 月に富山県において第 31 回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山 2018）が開催される予定であり、愛知県からは 200 名程度の選手・監督及び役員を派遣する予定です。



ねんりんピック秋田 2017

イ 生き生き長寿フェアの開催

本県では、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、社会参加の促進を図り、活力と潤いに満ちた長寿社会づくりの実現を目指して、マラソンやウォークラリー、ニュースポーツ体験などの健康イベント「生き生き長寿フェア」を毎年開催しています。

昨年度については、10月7日（土）に、大府市・知多郡東浦町にありますあいち健康の森公園の大芝生広場と球技場において、老人スポーツ大会と老人クラブグランド・ゴルフ大会の両大会と同時開催する予定でしたが、残念ながら当日雨天のため中止となりました。

予定していた内容は、マラソンやウォークラリー、ニュースポーツ体験の他に、大道芸やバルーンショーなどのステージアトラクションやスタンプラリー、子ども会と老人クラブがふれあう異世代交流促進事業等、子どもから高齢者まで楽しむことができるもので、約9,000人の参加者を見込んでいました。

今年度においても、10月にあいち健康の森公園において開催する予定であり、準備を進めていきます。

（３）市町村老人クラブ活動等事業

自らの老後を健全で豊かなものにするための自主的な組織として「老人クラブ」が結成されています。「老人クラブ」は、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的としています。

平成29年3月末現在、本県のクラブ数は、5,553クラブ、会員数は388,991人となっています。

しかし、60 歳以上人口に対する加入者の比率が年々減少してきており、魅力ある「老人クラブ」とする取組が必要となっています。

本県の老人クラブ数等

年度	H24	H25	H26	H27	H28
単位老人クラブ数(クラブ)	6,049	5,935	5,843	5,675	5,553
連合会会員数(人)	441,514	429,630	417,682	404,043	388,991
60歳以上人口(人)	2,123,185	2,152,760	2,175,919	2,200,539	2,215,950
加入率	20.8%	20.0%	19.2%	18.4%	17.6%

県全体(名古屋市・中核市含む)

老人クラブ数、会員数は「福祉行政報告例」(年度末3月末現在の数値)

60歳以上人口は、県統計「あいちの人口」(10月1日現在)

そこで、愛知県老人クラブ連合会では、「愛知いきいきクラブ」を愛称として積極的に使用することなどで、「老人クラブ」のイメージアップと加入促進を図っています。

また、「老人クラブ」では、健康づくり、趣味、レクリエーション、学習活動など「生活を豊かにする活動」や、友愛活動、社会奉仕、伝承活動など「地域を豊かにする社会活動」を行っています。本県では、平成 29 年度に老人クラブが実施する友愛活動や生活支援活動、清掃・奉仕・環境活動などの事業に対し助成しました。(県の助成対象老人クラブは 3,180 クラブ、会員数 237,477 人)

取組を踏まえた今後の方向性

高齢者の生きがいと社会参加を促進するための各事業を引き続き実施していきます。

「あいちシルバーカレッジ」については、これまでに定員増(直近では平成 27 年度に 540 人から 600 人に増員)を行ってきましたが、依然として倍率が 2 倍を超えており、県民の要望に応えられない状況が続いていることから、平成 30 年度に定員数を 600 人から 630 人に増員を図るとともに、学習内容を充実していきます。

健康づくりや介護予防に関する取組のほか友愛活動など地域の見守り事業を推進するため、市町村老人クラブ活動等事業に対して助成し、老人クラブ活動の活性化を促していきます。